

《和音の練習 カルリのエチュード》(3きょくとも「あるあいにれ」)

《みぎてのきごう》 《ひだりてのきごう》
 p 「ぴー」おやゆび 0 かいほうげん
 i 「あい」ひとさしゆび 1 ひとさしゆび
 m 「えむ」なかゆび 2 なかゆび
 a 「えー」くすりゆび 3 くすりゆび
 4 こゆび

ゆび どくりつ れんしゅう

指の独立の練習

独立、和音、親指の練習はすべて同じ押さえ方です。
 まずは独立の練習で左手の押さえ方を覚えてから次に進みましょう。

みぎてはすべてpimaのじゅんばんでひく。
 ひだりては、みぎてでひくじゅんばんで、げんをおさえる。

3のゆびは2-3フレットのまんなかをおさえる(おとはさいしょでなくてもよい)
 1のゆびはまげて、1げんにさわらないようにおさえる。

3のゆびを6げんまでもちあげる

p (びあの) よわくひく

sul tasto

(スル タスト) みぎてのひらをサウンドホールのうえにうつす
 やわらかいおとをだす

(くれっしえんど) おとをだんだんおおきくしていく
 きゅうきゅうしやがちかづいてくるように

f (ふおるて) つよくひく

p

(でくれっしえんど) おとをだんだんちいさくしていく
 きゅうきゅうしやがとおいにいくように

3のゆびを6げんまでもちあげる

mp (めぞびあの) すこしよわくひく

sul ponticello

(スル ポンティチェロ) みぎてをぶりっじがわへうつす
 かたいおとをだす

f

sul tasto

(スル タスト) みぎてをサウンドホールのうえに
 やわらかいおとをだす

mf

(めぞ ふおるて)
 すこしつよくひく

rit.

(りたるだんど)
 だんだんゆっくりにする。
 じてんしややくるまのぶれーき

mp

わおん れんしゅう
和音の練習

まいかいじゅうしん
aに毎回重心をおく

mf *subito p*

sul normal

(スル ノルマル) みぎておやゆびだけがサウンドホールのうえにくるように
きほんのいち

(すびと)
きゅうに

3

f

5

p sul tasto *mp*

(スル タスト) みぎてのひらをサウンドホールのうえにうつす
やわらかいおとをだす

sul normal

7

subito f *rit.* . . .

親指の練習

pでひいたあとかならず6げんにさわってから i, mとひきましょう。

p sul tasto

mp sul ponticello

sul tasto

(ふおるてっしも) とでもつよくひく